

～まちの話題～

中学校卒業前に

奉仕活動・お祝い給食会



宮津保育園でペンキ塗りをする生徒



中学校生活最後の給食「お祝い給食会」

二月二十八日、阿久比中学校の三年生全員が卒業の前に、自分たちが卒業した町内の幼稚園と保育園を訪れ、清掃作業を行いました。
中学生たちは、ガラスふき、トイレ掃除、ペンキ塗りなど約一時間にわたり自分たちの育った「学びや」をきれいにしました。

宮津保育園で清掃を終えた男子生徒は「卒園以来、初めて来たのでなつかしかった。園児たちが喜んでくれたのでうれしかった」と感想を話していました。

また、三月一日と二日の二日間、中学校のアザレアホールで「お祝い給食会」が開かれました。

義務教育最後の給食が、卒業する生徒たちへの良き思い出となるようにと、町給食センターが企画しました。

給食のメニューは牛肉の煮込み、えびコーンフレックフライ、特製阿久比町野菜コロッケのメインディッシュをはじめ、サラダ、スープ、果物、ケーキなどが用意され、生徒たちはバイキング方式で、自分の食器に好きなものを選び、それぞれのテーブルに着きました。

給食を食べる前に行われたセレモニーでは、生徒を代表して給食委員から給食センターの栄養士と調理員に花束を贈呈し、「今まで栄養のバランスが取れた、おいしい給食を作ってくれてありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

生徒たちは「小学校のころは野菜が苦手で、私だけ最後まで教室に残って給食を食べてたよ。」給食で初めて「ナン」を食べた」など給食の思い出を話しながら、中学校生活で最後となる給食を楽しそうに食べていました。



桜の名所に

3月1日、阿久比ライオンズクラブのメンバー30人が奉仕活動の一環として、阿久比中学校西周辺に植えられている桜の木の手入れを行いました。

作業を終えたメンバーらは「早く木が大きく育ち、桜の名所になればいいですね」と話していました。



子どものために絵本作り

公民館活動の一環で絵本作り教室が中央公民館で行われました。

自分で絵本を作り、子どもたちにその絵本を読み聞かせようと、お母さんや孫をもつ祖母ら10人が教室に参加し、それぞれが思い思いの作品を仕上げました。

3月1日には、出来上がった作品を子どもたちに読み聞かせをしました。